

# 条例の改正

## 市営住宅に指定管理者を導入とする内容へ

委員会での質疑や、担当者からのヒアリングでの確認事項をご報告いたします。

問：市営住宅数は？

答：管理戸数は567戸あり、その内入居戸数は134戸。

問：なぜ、今の時期に条例改正の提案をすることになったのか？

答：他の自治体においても指定管理の導入が進んでおり、民間事業者ノウハウが蓄積されてきた。

問：目的は？

答：管理業務の一層の効率化と多様化する住民ニーズへの対応。

問：指定管理を任せる事業の内容は？

答：市営住宅の維持と補修。また、独自に高齢者の見守りなど対応いただけると考えている。

問：指定管理による費用面と人員面でのメリットは？

答：費用面では現状5100万円かかるが、事業者の見積りでは4500万円程度になる。職員は8名

体制だが、正規職員2人で対応できる。

問：住民ニーズへの対応で、高齢者の見守りや24時間対応はそれほど大きなメリットではない。他に何か提案されてくるのか？

答：今後、書類審査、プレゼンやヒアリングを通して確認していく。

今後のスケジュールは、9月と10月の選定委員会で事業者を選出します。その後、12月議会で指定管理者を決定することになります。

## 新中央図書館の設置のための条例

新中央図書館が開設されることから、これまでの条例を廃止し、新たな条例が制定されます。

### 【これまでの条例との違い】

- 中央図書館の場所の変更
- 現在の中央図書館臨時図書室を西分館とする
- 移動図書館を条例に明記
- 図書館の附属施設として自転車駐輪場を設置し、その使用料を明記

問：新たにアドバンス1号館4階に設置される中央図書館の運営形態は？

答：直営を維持する。

問：駅前図書館は別の条例で定められ、この条例に位置づけられていない。その理由は？

答：今後、こども専用図書館としてリニューアルしていくことから、その段階で在り方を検討する。

問：自転車の駐輪場設置となっているが、どこを指すのか？

答：アドバンスねやがわ1号館の前の植栽部分を自転車置き場に改修する予定。

問：その場所は、何台留めれて、料金は？

答：30台を予定。2時間までは無料。その後は、6時間までごとに200円。

問：それだけでは足りないのではないか？

答：パークアドバンスに60台程度と、駅周辺のラック式自転車置き場を利用させていただく。

問：自動車の駐車場は？

答：アドバンスねやがわ1号館の地下で20台程度可能と考えている。

問：料金は？

答：無料。

問：自転車が有料で、自動車が無料というのはおかしい。それであれば、図書館の利用目的以外の人も使うことになる。駅前である立地も考慮して、再考すべき。

# 押印廃止に伴う条例改正

行政文書に押す印鑑の要・不要の確認作業が行われています。

「固定資産評価審査委員会」「職員と公平委員会のサービスの宣誓」に関しては押印が不要と判断し、条例改正となりました。

条例改正をしなければならないものはこれだけです。その他の大部分は議決を必要とせず、庁内で決定されます。

問：押印をする行政書類は、何種類あるのか？

答：全部で3052種類。内訳は、市民が対象となるものが2724種類で、庁内の職員間のものが328種類。その内、法令等で定められている887種類は市で決定できない。

問：過去に押印の見直しを行ったことはあるか？

答：平成8年度当時、930種類を対象とし、170種類の押印廃止を行った。

問：現在の見直しの状況は？

答：税関係の書類122種類のうち、115種類で廃止予定。残る7種類は金融機関に関するもの。

問：他市では相当数の見直しを行ったという報道もあるが？

答：他市状況は把握している。押印の廃止によってどのような影響がでるのかを慎重に検討していく必要があると考えている。

押印を求めている理由は、本人による執行という裏付けです。実質、3文判も可能であることから形式的なものですが、一定の抑止効果はあると考えられます。

担当者には、「訂正印」がなくなった場合は自署となるのか？ 文書の書き換えやなりすましの提出など、悪意での行為が容易にできることへの自衛策は？ など、担当者に投げかけています。

## 駅前庁舎の検討

窓口などの市民サービスを寝屋川市駅前に整備する計画があります。その一環として、大阪電気通信大学駅前キャンパスを購入し、駅前庁舎として活用する予算が審議されました。

### 【キャンパスの費用】

建物（約4715㎡）	11億6950万円
土地（約1178㎡）	4億850万円
合計	16億9495万円

### 【財源】

公共公益施設整備基金	4億2375万円
市債（借金）	12億7120万円



### 予算審議での審議（抜粋）

問：大学と本市のどちらから言い出した話か？

答：大学側。

問：購入額の妥当性は？

答：当初は、もっと高額な提示であったが、鑑定額をもって購入額とすることを両者で合意した。鑑定額は、不動産鑑定士2人の結果であり、不動産評価委員会も了解している。

問：大学が当初購入した土地の価格は？

答：4億9970万円。

問：建物の鑑定方法は？

答：複数評価を持って、総合的に判断したとのこと。

問：ランニングコストの見込みは？

答：大学側の実績では、年間約1450万円。

### 【今後のスケジュール】

- 7月～ 所有者と協議の上、仮契約
- 9月議会 財産の取得を議案として付議  
改修の設計費の補正予算
- 3月議会 改修工事費の予算
- 令和4年度中に改修工事
- 令和5年度にオープン

# 公立の幼稚園と保育所の将来への対策

令和2年10月20日より「寝屋川市立幼稚園・保育所の在り方に関する審議会」で審議されていましたが、この6月3日に答申が出されました。

課題	社会環境の変化により、家庭で身につけていた力が十分育まれない傾向にある
	共働き世帯率の上昇により、幼稚園に対する需要が減少（園児数については、下記参照）

このような状況の中、就学前教育の充実・活性化が求められている。

↓ それを実現させるには・・・

- 幼稚園・保育所の横の連携
- 幼稚園・保育所と小学校・中学校の縦の連携

↓ 具体的には・・・

「幼稚園・保育所を整理・再編する」

## 公立幼稚園の園児数の推移

年度	4歳児	5歳児	合計
平成15年	526	567	1093
平成20年	308	427	735
平成25年	219	213	432
令和元年	70	106	176
令和3年	41	53	94

園児数のピークは、昭和52年の2,389人です。当時は、1年保育でした。昭和60年に819人。この減少状況を受け3園を廃止し9園体制となりました。平成2年に446人まで減少し、1年保育から4歳・5歳の2年保育に移行しました。それにより1,000人前後となっていました。

## 審議会としての結論は・・・

- ①寝屋川市としての特色ある就学前教育・保育内容を確認し、実践していくための調査・研究を行う組織の設置を検討すること。
- ②集団教育・保育を実践できる一定規模の子どもの集団が必要なことから、市立認定こども園の設置についても検討すること。

6月議会では、令和3年と4年の2年間をかけ「就学前教育・保育の調査・研究事業」を行う経費として、416万3000円が計上されました。

## 新たな予算です

新たな予算24億2482万円が提案されました。補正予算としては大きな規模になります。

### ■ひとり親世帯を除く低所得の子育て世帯への給付金（2億2353万円）

新型コロナでの影響を軽減する目的です。

児童手当などの情報を元に、対象者（収入状況の変化で外れる場合もあり）には案内が送付されます。ただし、この1月以降に収入が減少している世帯は、申請の必要があります。

### ■生活困窮者への自立支援（4億2295万円）

緊急小口資金などが利用できない世帯で、受給の可能性のある人には案内が送付されます。その世帯の内、あらたな要件を満たす世帯が対象です。

### ■指定管理者への減収補償（1419万円）

1月から3月に、市の要請に基づき休館したことによる減収分の補償です。他の自治体では、このような指定管理者への補償をしていないところもあるようです。

### ■新500円硬貨への対応（235万円）

11月に発行されることから、レジスターや、交付手数料の収納機などのパーツ交換などで新500円硬貨に対応する費用です。

### ■新規道路の設計（2764万円）

明和地区内で実施している街なみ環境整備事業の一環として、道路の整備を行っていきます。